



静岡県御前崎港管理事務所
Omaezaki Port Administration Office

〒437-1623 静岡県御前崎市港6129-1
電話 0548-63-3211 (総務課) 3213 (企画振興課) 4236 (整備課)
FAX 0548-63-2173
URL <http://doboku.pref.shizuoka.jp/desaki2/omaezaki/>

港湾施設

水域施設

航路 航路（-12.0m）……西埠頭1号岸壁北端から83.5度157m離れたところを起点として幅員200mをもって北北東延長610m
 航路（-7.5m）……中央埠頭1号岸壁先端の波除堤南側角から56.5度36m離れたところを起点として幅員110m～220mをもって北延長230m

(大型船舶泊地)

種別	泊地面積	内 訳			
		(5.0m)～(7.5m未満)	(7.5m)～(9.0m未満)	-12.0m	-14.0m
被覆内	1,015,139㎡	242,556㎡	221,370㎡	283,700㎡	267,513㎡

(小型船舶泊地)

種別	泊地面積	水深 (m)
被覆内	249,468㎡	-2.0～-4.0

外郭施設

防波堤

名称	延長 (m)	様式	備考
防波堤 (A～C)	2,155.76	混成堤	
防波堤 (東、西)	2,070.00	混成堤	直轄事業
小計	4,225.76		
その他防波堤 (波除) 等	1,564.88	直立堤及び混成堤ほか	
合計	5,790.64		

堤防 (高潮)

堤防及び防潮堤	延長 (m)	様式
堤防及び防潮堤	3,583.82	混合擁壁

係留施設

岸壁

名称	延長 (m)	水深 (m)	所定けい船数		備考
			所定トン数	船席数	
西埠頭1、2号岸壁	510.8	-12.0	30,000	2	完成自動車
西埠頭3～5号岸壁	390	-7.5	5,000	3	一般貨物
西埠頭6、7号岸壁	200	-5.5	2,000	2	一般貨物
西埠頭8、9号岸壁	200	-5.5	2,000	2	金属くず
西埠頭10号岸壁	310	-14.0	50,000	1	コンテナ
中央埠頭1、2号岸壁	260	-7.5	5,000	2	一般貨物
中央埠頭3～5号岸壁	260	-5.0	1,000	3	水産品
東埠頭1～4号岸壁	372.6	-5.0	1,000	4	雑貨
東埠頭5、6号岸壁	160.8	-5.0	1,000	2	砂、砂利
中電専用岸壁	100	-7.0	3,000	1	原発用機材
シェブロンジャパン(株)専用さん橋	56	-5.0	5,000	1	石油製品

臨港交通施設

道路

名称	延長 (m)	車道幅員
臨港道路1～4号線	7,314.00	5.50～13.00
港内道路1～21号線	10,159.45	4.00～20.85
合計	17,473.45	

荷さばき施設

荷さばき地、上屋及び軌道走行式荷役機械

名称	設置数	面積 (㎡)	構造	主要取扱貨物	備考
西埠頭1、2号荷さばき地	2	64,776	アスファルト舗装	完成自動車	指定保税地域、保税蔵置場
西埠頭3～5号荷さばき地	3	16,962	アスファルト舗装	一般貨物	
西埠頭6、7号荷さばき地	2	5,968	アスファルト舗装	一般貨物	
西埠頭8、9号荷さばき地	4	18,355	アスファルト舗装	金属くず	
西埠頭10号荷さばき地	1	47,462	アスファルト舗装	コンテナ	指定保税地域
中央埠頭1、2号荷さばき地	2	9,441	アスファルト舗装	一般貨物	保税蔵置場
中央埠頭上屋1号	1	840	鉄骨建屋	一般貨物	保税蔵置場
中央埠頭上屋2号	1	1,680	鉄骨建屋	一般貨物	保税蔵置場
コンテナクレーン1、3号機	2	-	-	コンテナ	吊り上げ荷重52.4 t

保管施設

野積場及び貯木場

名称	面積 (㎡)	主要取扱貨物	備考	名称	面積 (㎡)	主要取扱貨物	備考
中央埠頭野積場1号	15,709	一般貨物		西埠頭野積場3号	2,585	シャシ置場	保税蔵置場
中央埠頭野積場2号	14,392	一般貨物	保税蔵置場 植物検疫指定土場	西埠頭野積場4号	5,611	シャシ置場	
中央埠頭野積場4号	15,545	一般貨物	保税蔵置場 植物検疫指定土場	西埠頭野積場4-2号	4,390	シャシ置場	
野積場5号	4,191	ウラスト付	保税蔵置場	西埠頭野積場6号	961	コンテナ	指定保税地域
野積場6号	3,313			西埠頭野積場7号	8,173	コンテナ	指定保税地域
野積場7号	6,967	一般貨物	保税蔵置場	西埠頭野積場8号	11,435	自動車	保税蔵置場
野積場8号	8,104	一般貨物	保税蔵置場	西埠頭小計	33,155	-	
野積場11号	7,464	一般貨物	保税蔵置場	水面貯木場	118,856	木材	
小計	75,685	-	-	合計	254,608	-	-

※保税蔵置場及び植物検疫土場は、御前崎埠頭株式会社指定を受けている。

港湾環境整備施設

海浜、緑地、広場及び植栽

名称	面積等	備考
御前崎港海岸	19.1ha	緑地公園 (マリンパーク御前崎)
公園 I	面積 22,674㎡	エコパーク
公園 II	面積 6,503㎡	

移動式施設

移動式荷役機械

名称	能力	対象貨物
タイヤマウント式ジブクレーン	吊り上げ荷重 39.2t	コイル、コンテナ等重量物

御前崎港のあゆみ

西暦	年・月・日	記	事
1936	昭11. 3. 4	避難港指定	
1948	23. 7.15	港域指定	
〃	23.11. 1	静岡県御前崎港修築事務所設置（現 御前崎港管理事務所）	
1951	26. 1.19	地方港湾指定	
1952	27.11.10	港湾区域指定	
1960	35. 3.25	避難港完成	
1962	37. 4.24	港湾隣接地域指定	
1964	39. 4. 8	海岸保全区域指定（御前崎地区・白羽地区）	
1965	40. 7.20	臨港地区指定	
1971	46. 3.31	中央埠頭1号岸壁（-7.5m）完成	
〃	46. 4. 1	関税法による開港指定（県下3番目）	
1972	47. 4. 1	中央埠頭2号岸壁（-7.5m）完成	
1973	48. 1.17	出入国管理令による出入国港の指定	
1974	49. 8. 1	植物防疫法による指定港	
1975	50. 4.22	重要港湾の指定	
1976	51. 7.27	御前崎港港湾計画決定（多目的港）	
1985	60. 1. 1	西埠頭1号、2号岸壁（-12.0m）完成	
1986	61. 3.17	中央1号県営上屋（840㎡）完成	
〃	61.12.23	御前崎港港湾計画（改訂）	
1988	63.10. 1	無線検疫港指定	
1990	平02. 4. 1	西埠頭6号、7号岸壁（-5.5m）完成	
1991	03. 3.27	中央2号県営上屋（1,680㎡）完成	
〃	03.11.21	内航定期RORO船就航	
1994	06. 9. 9	御前崎港港湾計画（改訂）	
1996	08.12. 1	おまえざきポートラジオ免許	
1997	09. 2.27	港湾区域変更	
〃	09. 8. 4	自動車運搬船が初入港	
1999	11.12. 1	ジブクレーン完成	
2000	12.11.10	西埠頭5号岸壁（-7.5m）完成	
2001	13. 1. 5	西埠頭8号、9号岸壁（-5.5m）完成	
〃	13. 2.27	西埠頭3号、4号岸壁（-7.5m）完成	
2003	15. 3.31	西埠頭10号岸壁（-14.0m）完成	
2004	16. 1.31	西埠頭女岩地区国際物流ターミナル供用開始	
〃	16.10.31	外航定期コンテナ船就航	
2010	22. 8. 3	「新規の直轄港湾整備事業着手対象とする港湾」に選定	
2011	23. 3.29	臨港地区変更	
2015	27. 8. 1	「みなとオアシス」に認定	

御前崎港建設概要

御前崎港は駿河湾の湾口部にあり、季節風に対して静穏な水面を有するため、古くから付近を航行する船舶の避難場所として利用されてきた。また、近隣の風光明媚な海岸線は、海水浴、磯遊び、ウインドサーフィン、クルージングなどの海洋レジャーの拠点としても脚光を浴びている。

◆避難港として

このような地理的条件に恵まれ、また関係各方面からの熱烈な要望により、昭和11年に避難港の指定を受けた。しかし、戦時中は港湾建設の着工に至らず、避難港修築事業として建設の第一歩を踏み出したのは昭和23年のことである。以来昭和34年度までに、東防波堤1,167m、泊地35,000㎡（-5.0m）が完成し、避難港工事が完了した。

◆地方港湾として

この間、昭和26年には港湾法に基づく地方港湾の指定を受けた。戦後日本経済の復興に伴い、砂利・砂・水産品等を取り扱う目的で昭和34年度から昭和44年度までに、中央埠頭3、4号、東埠頭1～5号、ケーソンヤード、小型船舶揚場及びこれらの後背地が整備された。

一方、昭和40年代に入り、旺盛な住宅投資等を反映し県内の外材需要量は急増した。このため、清水港の補完的役割を果たすべく木材港として整備することが計画され、昭和45年度から昭和50年度にかけ、中央埠頭1、2号岸壁（5,000^t岸壁、水深-7.5m）及び背後の埠頭用地並びに工業用地が整備された。

また、昭和46年には関税法に基づく開港の指定を受け、これを契機に木材輸入は飛躍的に増大した。

◆重要港湾として

このような港勢の進展に伴い、昭和50年には港湾法に基づく重要港湾に指定された。

さらに、木材港としてのみならず県中西部における物流、産業開発の拠点として多目的な利用を目指した計画が決定され、昭和49年度から西埠頭の埋立工事に着手し、昭和59年度に西埠頭1、2号岸壁（30,000^t岸壁、水深-12.0m）が10年の歳月をかけて完成、昭和60年度には中央埠頭上屋1号が、平成2年度には同上屋2号が完成した。

整備の進展を受け、平成3年度には初のRORO船による定期航路が開設、平成9年度からは完成自動車の輸出が始まるなど、着実に港の利用拡大が図られてきた。

また、平成16年1月にコンテナクレーンを備えた女岩地区国際物流ターミナルが供用開始し、同年10月には待望の外航定期コンテナ船の第1船が入港、現在は、中国航路、韓国・中国・フィリピン航路及びシンガポール・マレーシア航路が就航しているほか、内航船によるフィーダー輸送も行われている。

一方、本港をとりまく環境は、金谷御前崎連絡道路の建設が促進されるとともに、新東名高速道路や富士山静岡空港、東名相良牧の原インターチェンジ、掛川インターチェンジの開設等、交通体系や工業団地の整備等の経済発展のための基盤整備が着々と進んでおり、県中西部における企業立地の活発化等を背景に県内で最も注目される地域の一つとなっている。

また、平成22年8月には、全国102港の重要港湾から本港を含む43港が「新規の直轄港湾整備事業着手対象とする港湾」に選定されるなど、御前崎港は県中西部の物流を担う多目的流通港湾として大きな期待が寄せられている。

御前崎港の現況 (平成30年4月1日現在)

- | | | | | |
|----------------------|----------------------------|-----------------|------------|------------------------|
| ①防波堤(A) | ⑬西埠頭8号岸壁 (-5.5m) | ⑳西埠頭荷さばき地4号 | ㉓中央埠頭野積場4号 | ㉙マリンパーク御前崎 |
| ②防波堤(B) | ⑭西埠頭9号岸壁 (-5.5m) | ㉑西埠頭荷さばき地5号 | ㉔野積場5号 | ㉚ナカジマ鋼管(株) |
| ③防波堤(C) | ⑮西埠頭10号岸壁 (-14.0m)(耐震) | ㉒西埠頭荷さばき地6、7号 | ㉕野積場6号 | ㉛シェブロンジャパン(株) |
| ④防波堤(東) | ⑯中央埠頭1号岸壁 (-7.5m) | ㉓西埠頭荷さばき地8-1、2号 | ㉖野積場7号 | ㉜元日マテール(株) |
| ⑤防波堤(西) | ⑰中央埠頭2号岸壁 (-7.5m) | ㉔西埠頭荷さばき地9-1、2号 | ㉗野積場8号 | ㉝御前崎港マリーナ |
| ⑥西埠頭1号岸壁 (-12.0m) | ⑱中央埠頭3~5号岸壁 (-5.0m) | ㉕西埠頭荷さばき地10号 | ㉘野積場11号 | ㉞アオキトランス(株)御前崎国際物流センター |
| ⑦西埠頭2号岸壁 (-12.0m) | ⑲東埠頭1~4号岸壁 (-5.0m) | ㉖中央埠頭荷さばき地1、2号 | ㉙西埠頭野積場3号 | ㉟御前崎共同物流センター |
| ⑧西埠頭3号岸壁 (-7.5m)(耐震) | ⑳東埠頭5、6号岸壁 (-5.0m) | ㉗中央埠頭上屋1、2号 | ㉚西埠頭野積場4号 | ㊱エコパーク |
| ⑨西埠頭4号岸壁 (-7.5m)(耐震) | ㉑中部電力(株)専用岸壁 (-7.0m) | ㉘南駿河湾漁協魚市場 | ㉛西埠頭野積場6号 | ㊲風力発電施設(くるくる) |
| ⑩西埠頭5号岸壁 (-7.5m) | ㉒シェブロンジャパン(株)ドルフィン (-5.0m) | ㉙中央埠頭野積場1号 | ㉜西埠頭野積場7号 | |
| ⑪西埠頭6号岸壁 (-5.5m) | ㉓西埠頭荷さばき地1、2号 | ㉚中央埠頭野積場2号 | ㉝西埠頭野積場8号 | |
| ⑫西埠頭7号岸壁 (-5.5m) | ㉔西埠頭荷さばき地3号 | ㉛日本架設工事(株) | ㉞水面貯木場 | |



利用料金等



西埠頭ガントリークレーン

(1) 港湾施設使用料

平成30年4月1日現在

区 分	算 定 単 位	使 用 料 金		備 考
		外航船舶	内航船舶	
岸壁・さん橋	総トン数1トン24時間につき	10円90銭	11円70銭	
	使用時間が2時間以上12時間以下の場合	8円20銭	8円70銭	
	使用時間が2時間未満の場合	4円90銭	5円10銭	

区 分			算定単位	使用料金	備 考	
野積場・荷捌地	特級	一般使用	貨物搬入の日から起算して15日まで	1㎡1日につき	5円70銭	●専用使用は野積場のみのみ ●荷さばき地、野積場の等級 特級 知事が別に告示で定める 1級 特級以外で舗装されたもの 2級 未舗装
		一般使用	貨物搬入の日から起算して16日以後	1㎡1日につき	8円80銭	
	専用使用		1㎡1月につき	149円		
	1級	一般使用	貨物搬入の日から起算して15日まで	1㎡1日につき	3円90銭	
		一般使用	貨物搬入の日から起算して16日以後	1㎡1日につき	5円70銭	
	専用使用		1㎡1月につき	102円		
2級	一般使用	貨物搬入の日から起算して15日まで	1㎡1日につき	3円10銭		
		貨物搬入の日から起算して16日以後	1㎡1日につき	5円10銭		
	専用使用		1㎡1月につき	83円		
上屋	6級	一般使用	貨物搬入の日から起算して15日まで	1㎡1日につき	8円80銭	
			貨物搬入の日から起算して16日以後から30日まで		18円20銭	
			貨物搬入の日から起算して31日以後		36円30銭	
	専用使用		1㎡1月につき	234円		
貯木場	水面貯木場		1㎡1月につき	13円30銭		
荷役機械	ジブクレーン		1台1時間につき	33,510円		
	ガントリークレーン		1台30分につき	39,190円		

(2) 入港料

区 分	料 率		
	算定単位	金 額	備 考
基準料率	入 港 1 回 総 ト ン 数 1 ト ン につき	2円に16銭を加えた額	総トン数700トン未満の船舶については徴収しない。
外航船舶の料率		2円	
内航船舶の料率		基準料率の2分の1の額	

- 注) 1 同一船舶が1日に2回以上入港するときは、1日につき入港1回とみなす。
2 同一船舶が1月に11回以上同一港湾に入港するときは、1月につき入港10回とみなす。



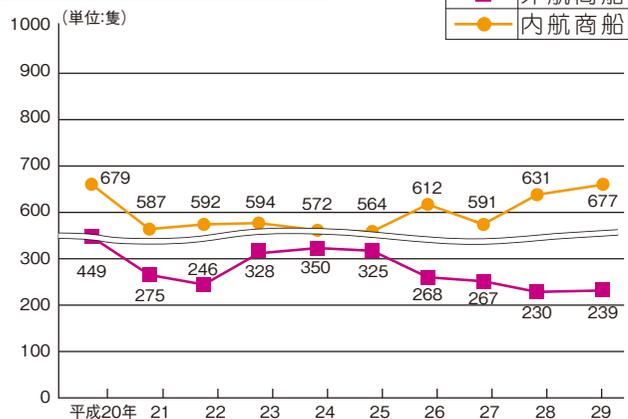
西埠頭1、2号荷さばき地

港 勢

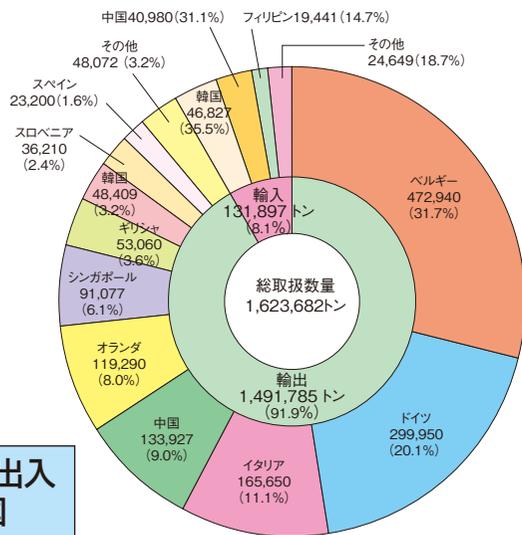
本港の取扱貨物量は輸出・移出の割合（約8割）が高く積出港としての特徴があり、主な取扱貨物は完成自動車と自動車部品である。サブプライムローン問題に端を発した平成20年のリーマンショックを境に取扱貨物量は減少し、現状は約300万トン前後で推移している。

平成29年の取扱貨物量は、完成自動車の輸出増加等により、総計で3,346,463トン（前年比25.6%増）となった。内訳を見ると、RORO貨物（取扱貨物量全体の35.7%）は前年比11.8%減の1,194,590トン、コンテナ貨物（取扱貨物量全体の14.1%）は前年比40.9%増の34,255TEUとなった。また、取扱貨物量増の主要因となった輸出完成自動車（取扱貨物量全体の36.4%）は前年比122.3%増の1,219,550トンとなった。

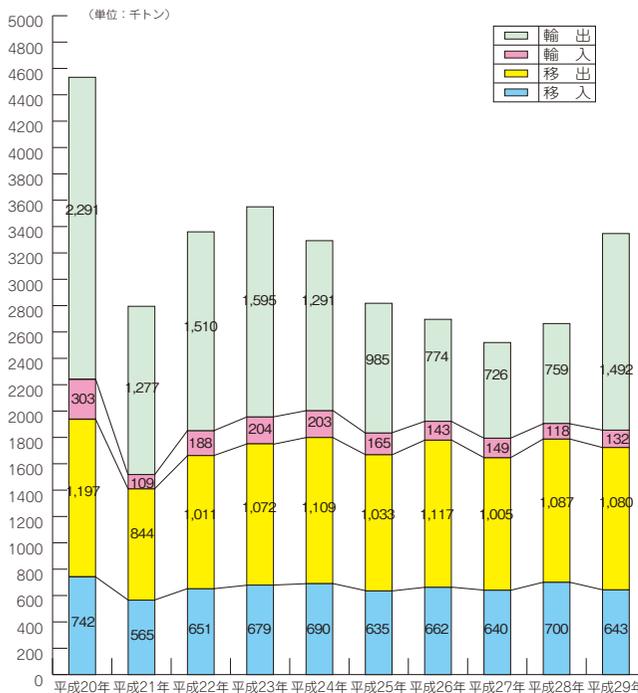
入港船舶の推移



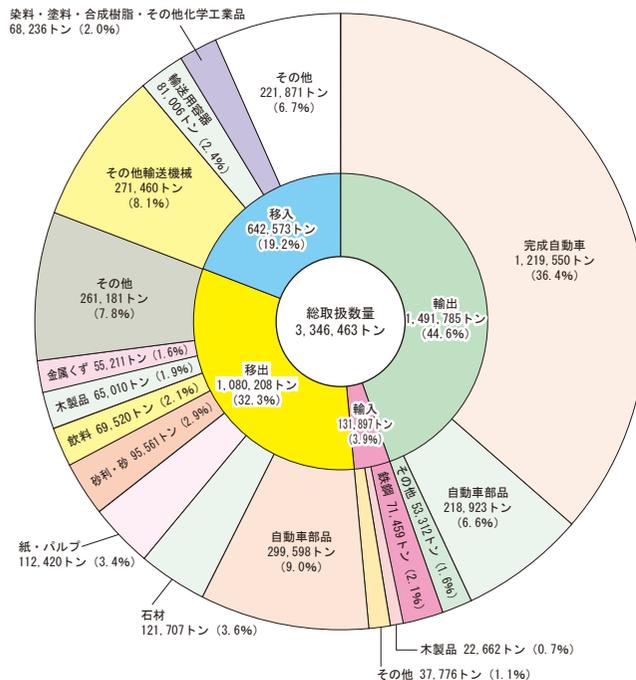
平成29年輸出入貨物相手先国



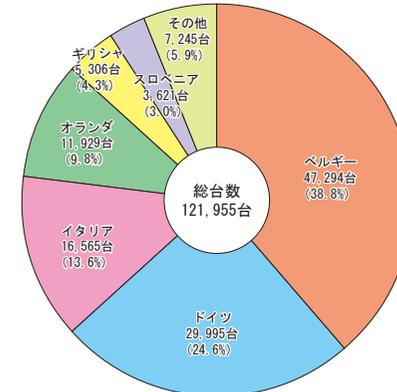
海上出入貨物の年別比較



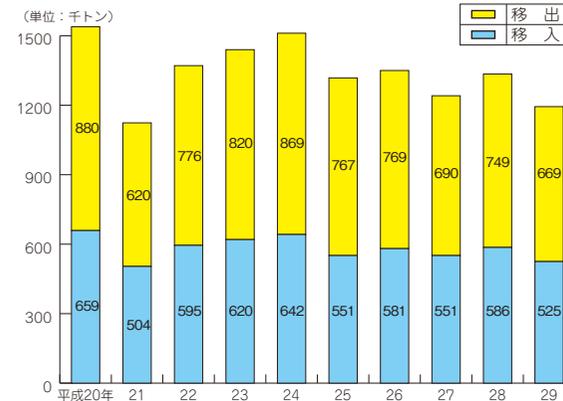
平成29年海上出入貨物構成



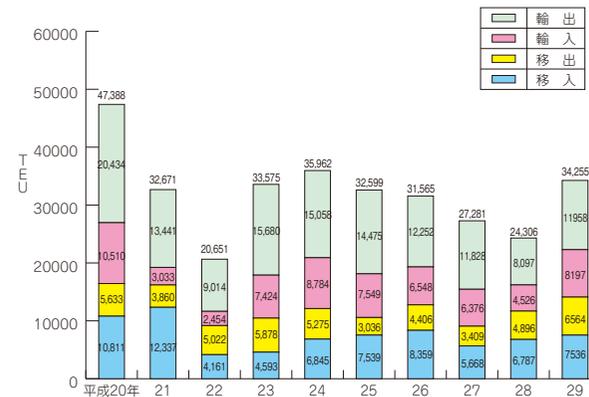
平成29年輸出自動車の仕向地



RORO貨物取扱実績の推移



コンテナ貨物取扱量実績の推移



新時代に向けて発展する御前崎港



★コンテナ輸送に対応する
大型外貿埠頭



★地域を代表する
自動車輸出拠点



★広域幹線道路との連絡



★ユニットロード輸送に
対応する内貿埠頭



★整備が進む民間倉庫



★海洋レクリエーション
に対応

